

端野の教育（その6）

豊実尋常小学校

豊実地区は野付牛時代、ニコロ原野下部落に属し、通称「貴登多牛」とか「貴多美」と呼称されてきました。

この地区の児童生徒の通学区域は野付牛町立下仁頃尋常小学校で、大正十（一九二二）年四月一日、野付牛町から端野村が分村後も、児童生徒は引き続き下仁頃尋常高等小学校に委託通学してました。

しかし、委託を希望しない高等科の生徒は当時、「熊の巣」といわれていた通称“石毛の沢”を通り峠を超え約七キロ離れた端野尋常高等小学校に通学してました。

入植者が増加し、行政区が異なる下仁頃の学校に通学することは様々な問題があるとの声が高まり、地区一丸となり端野村に対し学校設置を強く働きかけました。

大正一二（一九二三）年一二月一日、登位加尋常小学校附属貴登多牛教授場として認可を受け、翌一三（一九二四）年六月、野付牛町の木村宗八氏から学校用地の提供を受け校舎建設に着手し、同年の一月に完成、一二月一日から授業が開始されました。児童数は、下仁頃尋常小学校に通学していた尋常科の児童六二人で、一学級編成、担

当は野口又三郎氏でした。

昭和七（一九三三）年一月、尋常小学校に昇格し校名を貴多美尋常小学校とし初代校長に野口又三郎先生が就任しました。以後、地域の変遷とともに、昭和一三（一九三八）年に字名改正により北美尋常小学校に改称し、校舎の増築や戦前戦後の学制改革を経て、同二九（一九五四）年、さらに字名改正により豊実小学校に改称されました。昭和五一（一九七六）年三月、端野小学校と統合するまでの五三年間、児童の教育をはじめ、地域づくりの拠点として多くの有能な人材を輩出してきました。

なお、平成一九（二〇〇七）年一二月、豊実ふるさと百年記念事業が行われ、「豊実小学校記念碑」が建立されました。



北登尋常小学校

野付牛村時代、北登地区は「トイカ」と呼称さ

れていました。

この地区に大正四（一九一五）年、仁頃と野付牛間の道路が開削され、多くの農場が開設したことに伴い、開拓が急速に進み定住者が増加するに伴い子弟の教育が大きな課題となりました。

この地区からは、遠く離れた下仁頃尋常小学校に通学しなければならず、当時は、道路といっても木や草を刈っただけで、雨が降るとぬかるみができ、雪が積もると歩行困難になり、子どもたちの通学には非常に危険と困難があり、学校設置が急務の課題でした。

そのため地区の方々は、大正五（一九一六）年、この地区に農場を開設していた岸山農場から学校予定地の寄付を受け、野付牛町に学校設置を強く働きかけました。

その結果、同年十月二三日、下仁頃尋常小学校附属登位加教授場として、現在の北登高齢者コミュニティセンターの位置に開校されました。開校時の児童数は四人、一学級編成、担当は松原茂一郎先生でした。

岸山農場はその後糸屋場となり、大正八（一九一九）年農場を開放したため入植者が急増し、児童数も増加したため、同二三（一九二四）年一月、登位加尋常小学校に昇格し、児童数は七五人、二学級編成で初代の校長は岡村征業先生でした。

以後、昭和初期に入り昭和二三（一九三八）年字名改正により登位加が「北登」となり、校名も北登尋常小学校に改称し、隣接の常呂村からの児童を受託するなど、時代の変遷に対応し、戦中戦後の学制改革を経て、昭和五一（一九七六）年三月、端野小学校と統合するまでの六〇年間、子どもたちの教育はもちろんのこと、地域づくりの拠点として役割を担い、多くの人材を送り出してきました。

田中 誠

学校統合により廃校となった学校の校歌



緋牛内小学校

作詞 秋元 嘉吉朗
作曲 岩田 要吉

一、丘も遙けき ふるさとの
森の若葉に ちからみち
土の香風に ただよえる
聖ヶ丘に 学ぶわれ

二、はつかの香り かぐわしき
理想の里に 築きつつ
みくにのものと 培わん
聖ヶ丘に 学ぶわれ



川向小学校

作詞 白山 友正
作曲 千葉日出城

一、大雪山の峰晴れて
花らんまんの学舎に
明るき陽ざしあふれつつ
学び会う顔かぐわしく
集うわれらに光あり

二、常呂の流れ清く澄む
沃土拓きし父祖の
恵みに育ちもろともに
汗を流してたくましく
集うわれらに感謝あり

三、月日はめぐる丘の上
聳えて樹てる赤楡の
雄々しき明日の力秘め
学びて日日に新しく
集うわれらに希望あり



協和小学校

作詞 大塚 盈
作曲 千葉日出城

一、伸びるから松
流れてひびく
思えよ深い
土にこもった
小学 小学
ひらけまことを
あきらかに

二、朝日かがやく
夕日にはえる
のぞめよ高い
強く正しい
小学 小学
つくれあしたを
たぐましく



北登小学校

作詞 大塚 盈
作曲 新野 二助

一、雲はなれゆく頂の
輝く日かげ
望みにもゆる
通う我等の
美しく
朝毎を
北登校

二、愛土深く
尊き精神
友垣ここに
学ぶ我等の
勤勞の
育みて
睦まじく
北登校

三、自律と自治の
誇り高し
久遠の榮
励む我等の
校風に
吾が母校
うけ継ぎて
北登校



豊実小学校

作詞 大塚 盈
作曲 松田 喜一

四、あめ清らけき
よき師と友に
日毎に伸びる
尽くす我等の
山川の
囲まれて
この幸を
北登校

一、明けゆく雲よ
流れる水の
朝さす日影
学べよ豊実
保て己を
山の背よ
美しく
ここに澄む
そのまこと
明かに

二、風立つ庭よ
集える窓の
のぞみの歌は
協せよ豊実
展け明日を
木々の葉よ
さわやかに
ここに聞く
その力
たくましく



忠志小学校応援歌

作者 不詳

一、阿寒の峰を遠く見て
高き理想の
日頃 鍛えし
あらわす時は
忠志校
我が力
今なるぞ

二、常呂川の水
流れを受けし
日頃 鍛えし
あらわす時は
潔く
忠志校
我が力
今なるぞ

※忠志小学校には校歌はなく、応援歌がありました。この資料は、同校を卒業された村本慧乃さんからいただきました。